



この度はTIMEXウォッチをお買い上げいただき有難うございます。
TIMEXウォッチの機能をご理解いただき、製品を正しくご使用いただくため、取扱説明書はよくお読み下さい。
また、取扱説明書はお手元に保管していただき、必要に応じて、ご参照下さいませよう、お願い致します。

1. 時計機能一覧表

時刻表示	時・分・秒 表示 12時間表示、24時間表示の選択可能 デュアルタイム表示 (別時刻)
カレンダー	月・日・曜日 表示
アラーム	設定時刻を音で知らせます 設定したアラーム時刻の5分後に再度アラームが作動
チャイム	毎正時を音で知らせます (時報)
クロノグラフ	1/100秒から99時間59分59秒まで計測可能 累計計測・区間計測 表示 [LAP]区間計測記録 30本または50本メモリー機能 [SPL]累計計測記録 30本または50本メモリー機能 カウント 99本
タイマー	最大23時間59分59秒まで設定可能
ナイト・ライト	インディグロ・ナイトライト オールデイ・インディグロ ナイトモード

2. INDIGLO インディグロ・ナイトライト

Aボタンを押すと液晶画面が光ります。
INDIGLO ナイトライトに使用されているエレクトロルミネッセンス技術 (米国特許) が液晶画面を明るくし、暗いところや夜間でもはっきり見える構造にしています。

3. ナイトモード機能

ナイトモード機能とは、どのボタンを押しても約3秒間INDIGLOナイトライトが点灯する機能です。
Aボタンを約3秒間押し続けるとアラーム音が鳴り、設定したことを知らせます。
一定時間経過すると自動的に解除されますが、強制解除する場合は、設定と同じくAボタンを約3秒間押し続けるとアラーム音が鳴り、解除したことを知らせます。



4. オールデイ・インディグロ

液晶画面に特殊フィルムを施し、日中などの明るいところでも液晶画面を見やすくしています。

5. 液晶表示の切り替え

・Dボタンを押すごとに表示が切り替わります。
[時刻 / カレンダー] [クロノグラフ] [タイマー] [アラーム]

6. [時刻 / カレンダー] および [チャイム / ビープ] の設定方法

1. E ボタンを約3秒間押し続けると[HOLD-TO SET]表示に引き続き、[SET TIME]表示に切り替わります。☒
2. [SET TIME] の [1] もしくは [2] が点滅します。☒
[1] が通常時刻となり、[2] がデュアルタイムとなります。☒

3. B もしくは C ボタンを押すごとに [1] [2] が切り替わります。ここでは [1] を選択して下さい。☒
4. D ボタンを押すと [時] 位置に点滅が移動します。点滅した状態で B もしくは C ボタンを押して [時] を設定します。☒

B ボタンを押すと値を減らし、C ボタンを押すと値を増やします。☒

5. D ボタンを押すと [分] 位置に点滅が移動します。点滅した状態で B もしくは C ボタンを押して [分] を設定します。☒

B ボタンを押すと値を減らし、C ボタンを押すと値を増やします。☒

6. D ボタンを押すと [秒] 位置に点滅が移動します。点滅した状態で B もしくは C ボタンを押すごとに [秒] が [00] になります。

7. D ボタンを押すと [曜日] 位置に点滅が移動します。点滅した状態で B もしくは C ボタンを押して [曜日] を設定します。

B ボタンを押すと値を減らし、C ボタンを押すと値を増やします。☒
[曜日] は英語の頭文字2文字で表示されます。(例. SUNDAY の場合は SU となります。) ☒

8. D ボタンを押すと [月] 位置に点滅が移動します。点滅した状態で B もしくは C ボタンを押して [月] を設定します。☒

B ボタンを押すと値を減らし、C ボタンを押すと値を増やします。☒

9. D ボタンを押すと [日] 位置に点滅が移動します。点滅した状態で B もしくは C ボタンを押して [日] を設定します。☒

B ボタンを押すと値を減らし、C ボタンを押すと値を増やします。☒

10. D ボタンを押すと [TIME] の [12-HR] もしくは [24-HR] 位置に点滅が移動します。☒
これは時刻表示の [12時間制] [24時間制] を意味しています。 [12-HR] が [12時間制]、 [24-HR] が [24時間制] です。☒

11. B もしくは C ボタンを押すごとに [12] [24] が切り替わります。ご希望の [時刻表示] を選択して下さい。

12. D ボタンを押すと [DATE] の [MM-DD] もしくは [DD.MM] 位置に点滅が移動します。☒
これは日付配列を意味しています。 [MM-DD] が [月・日] 配列、 [DD.MM] が [日・月] 配列です。☒

13. B もしくは C ボタンを押すごとに [MM-DD] [DD.MM] が切り替わります。ご希望の [日付配列] を選択して下さい。☒

カレンダーは設定後、自動的に日付変更しますが「閏年の2月29日」は自動表示されません。☒
通常は2月28日から3月1日に自動的に日付変更しますので、[閏年]には [月・日・曜日] の修正が必要です。☒

14. D ボタンを押すと [CHIME] の [ON] もしくは [OFF] 位置に点滅が移動します。☒

これは時報を意味しています。 [ON] を選択すると毎正時に時報が鳴ります。時報を解除する場合は [OFF] を選択します。☒

15. D ボタンを押すと [BEEP] の [ON] もしくは [OFF] 位置に点滅が移動します。☒

これは操作音を意味しています。 [ON] を選択すると各操作時にピープ音が鳴ります。ピープ音を解除する場合は [OFF] を選択します

16. E ボタンを押すと点滅箇所が停止して設定終了です。

7. クロノグラフ (ストップウォッチ) 設定方法

D ボタンを押して表示を切り替えて下さい。
[CHRONO] クロノグラフ (ストップウォッチ) 表示画面から設定を始めます。☒



Chrono on

[LAP / SPL] 表示切り替えの選択方法

計測表示は、スプリットタイム (SPL) とラップタイム (LAP) の表示を上下に移動可能です。☒
液晶画面上段が小さい文字になり、液晶画面下段が大きい文字になりますので、ご希望に応じて表示を選択して下さい。☒

1. E ボタンを約3秒間押し続けます。 [FORMAT] 表示に引き続き、選択表示になります。
2. B もしくは D ボタンを押すごとに配列が切り替わります。ご希望の配列を選択して下さい。
3. E ボタンを押すと点滅が停止して設定終了です。

スプリットタイム (SPL) / ラップタイム (LAP) の違い

[SPL] (スプリット) は「累計タイム」を意味しています。
[LAP] (ラップ) は「区間タイム」を意味しています。

LAP 1	LAP 2	LAP 3	LAP 4
7 : 11 MIN 7 : 11 MIN	7 : 50 MIN	7 : 08 MIN	7 : 30 MIN
SPLIT 1	15 : 01 MIN		
	SPLIT 2	22 : 09 MIN	
		SPLIT 3	29 : 40 MIN
			SPLIT 4

8. クロノグラフ (ストップウォッチ) 使用方法

D ボタンを押して表示を切り替えて下さい。☒
[CHRONO] クロノグラフ (ストップウォッチ) 表示画面から設定を始めます。☒

クロノグラフ操作時のピープ音は必ず鳴ります。消音することは出来ません。☒



Chrono on

クロノグラフ (ストップウォッチ) の使用方法

1. C ボタンを押すと計測がスタートします。☒
2. 計測中にB ボタンを押すと計測が停止します。☒
3. 計測が停止した状態で C ボタンを押すと、停止した計測タイムから再計測します。☒
4. 計測を停止した状態で B ボタンを 約 5秒間押し続けると「HOLD-TO RESET」表示に引き続き、計測したタイムがリセットされます。☒

[SPL/LAP] メモリー (記憶) の使用方法

1. C ボタンを押すと計測がスタートします。☒
2. 計測中に再度 C ボタンを押すと[SPL / LAP]が作動します。必要に応じて C ボタンを押して下さい。☒

・最大 [99] までカウントして [0] に戻ります。☒
・メモリー機能は [30] または [50] までです。☒
つまり、[99] までカウントしても、記録されるのは最大で最初の [1] から [30] または [50] までとなります。☒
・C ボタンを押して [SPL / LAP] を作動させると計測タイムは続行していますが、計測タイム表示は約10秒間一時停止し、その後 自動的に再計測に戻ります。計測タイムは続行されているので、再計測は一時停止の間の計測タイムを含めた計測表示となります。

3. 計測中にBボタンを押すと計測が停止します。
4. E ボタンを押すと「RECALL」表示に引き続き、カウントした計測タイムの呼び出し画面になります。
5. Bボタンもしくは、Dボタンを押すと、カウントした計測タイムを順次、呼び出すことが可能です。

Bボタンを押すと値を減らし、Cボタンを押すと値を増やします。

6. E ボタンを1回押して計測停止画面に戻します。
7. B ボタンを約5秒間押し続けると「HOLD-TO RESET」表示に引き続き、メモリー (記憶) された計測タイムが消去されます。

9. タイマーの設定方法

D ボタンを押して表示を切り替えて下さい。☒
[TIMER] タイマー表示画面から設定を始めます。☒
タイマーとは、任意で設定したタイムがスタート後に減算されて [0:00.00] になると、約10秒間ピープ音が鳴り、インディグロ・ナイトライトが点滅する機能です。☒

1. E ボタンを押すと [TIMER SET] 表示に引き続き、[時] 位置が点滅します。
2. 点滅した状態で B もしくは C ボタンを押して [時] を設定します。

B ボタンを押すと値を減らし、C ボタンを押すと値を増やします。

3. D ボタンを押すと [分] 位置に点滅が移動します。点滅した状態で B もしくは C ボタンを押して [分] を設定します。

B ボタンを押すと値を減らし、C ボタンを押すと値を増やします。

4. D ボタンを押すと [秒] 位置に点滅が移動します。点滅した状態で B もしくは C ボタンを押して [秒] を設定します。

B ボタンを押すと値を減らし、C ボタンを押すと値を増やします。

5. D ボタンを押すと [AT END] 表示になり、[STOP] もしくは [REPEAT] が点滅します。
[STOP] [REPEAT] は、B もしくは D ボタンを押すごとに切り替わりますので、ご希望を選択して下さい。

[STOP] : 通常のタイマー機能で、 [0:00.00] になると音と光で知らせます。1行程で終了です。☒



[REPEAT] : [0:00.00] になると音と光で知らせ、更に任意設定したタイマー時間に自動的に戻り、タイマー機能を繰り返し行います。☒



6. E ボタンを押すと点滅箇所が停止して設定終了です。☒

10. タイマーの使用法

D ボタンを押して表示を切り替えて下さい。☒
[TIMER] タイマー表示画面から設定を始めます。☒
タイマーを使用するには、予めタイマーを設定する必要があります。[タイマーの設定方法] をご参照下さい。☒

1. C ボタンを押すと計測がスタートします。☒

画面上段: 任意設定したタイマー時間
画面下段: 減算される計測タイマー

2. 計測中に B ボタンを押すと、計測が停止します。☒
3. 計測を停止した状態で C ボタンを押すと、停止したところから再計測を始めます。☒
4. 計測を停止した状態で B ボタンを押すと、任意設定したタイマー時間に戻ります。☒

タイマー時間を [0:00.00] にするには、設定方法に従って [0:00.00] に設定し直して下さい。☒

5. [0:00.00] になると約10秒間、音と光で知らせますが、音と光を10秒間以内に強制的に停止させたい場合は、A B C D E のいずれかのボタンを押すと停止します。☒

11. アラーム設定方法

D ボタンを押して表示を切り替えて下さい。
【ALARM】アラーム表示画面から設定を始めます。



Alarm on

- E ボタンを押すと【ALARM SET】表示に引き続き、【時】位置が点滅します。
- 点滅した状態で B もしくは C ボタンを押して【時】を設定します。

B ボタンを押すと値を減らし、C ボタンを押すと値を増やします。

- D ボタンを押すと【分】位置に点滅が移動します。点滅した状態で B もしくは C ボタンを押して【分】を設定します。

B ボタンを押すと値を減らし、C ボタンを押すと値を増やします。

- D ボタンを押すと【AM】もしくは【PM】位置に点滅が移動します。点滅した状態で B もしくは C ボタンを押して【AM】もしくは【PM】を選択します。【AM】が【午前】を意味し、【PM】が【午後】を意味しています。
- D ボタンを押すと【DAILY】もしくは【WK DAYS】もしくは【WK ENDS】が点滅します。
【DAILY】 【WK DAYS】 【WK ENDS】は、B もしくは D ボタンを押すごとに切り替わりますので、ご希望を選択して下さい。

【DAILY】 ☐ : 設定したアラームを【毎日】作動させます。
【WK DAYS】 ☐ : 設定したアラームを【平日のみ】(日曜日を除く)作動させます。
【WK ENDS】 ☐ : 設定したアラームを【日曜日】にのみ作動させます。

- E ボタンを押すと点滅箇所が停止して設定終了です。
- 定刻になると約20秒間、音と光で知らせます。

20秒間以内に音と光を停止する場合は、A B C D E のいずれかのボタンを押すと強制停止します。
強制停止しなければ、定刻の5分後に再度アラーム機能が作動します。(バックアップ・アラーム)

12. アラームの停止方法

D ボタンを押して表示を切り替えて下さい。
【ALARM】アラーム表示画面から設定を始めます。
・ B もしくは C ボタンを押して【OFF】を選択して下さい。

13. 防水性・耐水性

ケースもしくはウラプタに防水表示のあるモデルに限ります。
防水表示をご確認の上、使用可能範囲にそって正しくご使用下さい。
表示のないモデルは、非防水性です。

非防水性 汗などでもケース内に浸水しますので、取扱いには十分な注意が必要です。
30M・3気圧 → 日常生活防水 水中でのご使用は不可能です。雨・手洗いの際の水しぶきに耐えうる程度の防水性です。
50M・5気圧 → 日常生活防水 水中でのご使用は不可能です。水仕事に耐えうる程度の防水性です。
100M・10気圧 → 日常生活強化防水 水泳程度のご使用は可能です。
200M・20気圧 → 日常生活強化防水 水中でのご使用は可能です。但し、飽和潜水・空気潜水にはご使用出来ません。

14. 防水性・耐水性についてのご注意

- ・ケース内に浸水する恐れがありますので、水中ではリュウズ・プッシュボタンなどを作動しないで下さい。
- ・防水性は、永久的に継続する性能ではありません。外装部品やパッキン類が正常な状態でのみ維持されます。部品の劣化・老朽に伴って防水性も低下しますのでご注意ください。
- ・時計に汚れなどが付着していると防水性の妨げとなりますので清潔にしてご使用下さい。
- ・水に関するスポーツなどでご使用の際、瞬間的に耐圧限界を超える衝撃が加わった場合には、浸水する可能性がありますので、ご注意ください。
- ・防水性でも入浴中のご使用はお避け下さい。
- ・ダイバー向けの防水時計ではありませんので、ダイビングにはご使用にならないで下さい。
- ・性能を越えるご使用でのケース内浸水は、保証期間内に於いても有償対応となる場合がございますので、予めご了承下さい。

15. 電池寿命

使用電池 : 【リチウム電池: CR2016】
電池寿命 : 【約3年間】
電池寿命の条件 : 【新しい電池を装着してから、インディグロ・ナイトライトを1日1回3秒間使用した場合を想定】
電池交換の目安 : 【時計精度に遅れが生じたり、インディグロ・ナイトライトが暗くなった場合】
電池交換 : 【弊社に電池交換をご依頼下さい】

16. 電池についてのお願いとご注意

電池について
・時計をお買い求めいただいた際に組み込まれている電池は、機能・性能を見るためのモニター用です。電池寿命に満たない場合もございますので、予めご了承下さい。
・電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと、液漏れなどによる故障の原因となりますので、お早めにご交換して下さい。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

警告

- ・破損の恐れがありますので、お客様ご自身で電池を時計から取り外さないで下さい。
- ・やむを得ずお客様が時計から電池を取り出した場合は、電池はお子様の手の届かないところに保管して下さい。万一、飲み込んだ場合は、身体に害を及ぼす可能性がありますので、直ちに医師にご相談下さい。

注意

- ・破損・発熱・発火などの恐れがありますので、電池を分解、ショート、加熱、火に入れるなどの危険行為をしないで下さい。
- ・ご使用の電池は充電式ではありません。液漏れや破損を生じる恐れがありますので、絶対に充電はしないで下さい。
- ・常温(5℃～35℃)からはずれた温度環境下に長時間放置すると、電池寿命が短くなったり、液漏れを生じることがあります。

17. 時計の精度

TIMEX社の規格では、クォーツウォッチは月差±15秒以内、メカニカルウォッチ(機械式)は日差±30秒で調整されています。ただし、ご使用の条件により変化することもありますので、予めご了承下さい。

18. プレスレット/ストラップの調整

時計バンドがプレスレット(金属製)モデルに限ります。
モデルにより調整方法が異なりますので、該当する項目をご参照下さい。
該当以外のモデルや該当のモデルでも調整には工具や技術を必要としますので、作業が困難な場合は弊社宛に調整をご依頼下さいますようお願い致します。

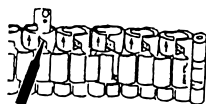
スライド式留め金タイプ

スライド式留め金プレスレット
ロックプレートを開けます。プレスレットが目的の長さになるよう留め金を動かします。ロックプレートに圧力をかけて押さえながら留め金を前後にずらし、プレスレットの裏側の溝に収めますようにします。ロックプレートをパチッと音がするまで押して閉じます。留め金に力をかけすぎると傷むことがありますので注意して下さい。



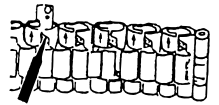
折り重ね式留め金タイプ

折り重ね式留め金プレスレット
プレスレットと留め金をつないでいるスプリング棒を見つけます。先の尖った道具を使って、スプリング棒を押し込み、プレスレットをそっとおじて外します。手首に合わせて長さを決めたら、目的位置の下穴にスプリング棒を入れます。スプリング棒を押し下げて上穴に当ててから離し、定位置にロックします。



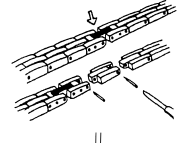
折り重ね式留め金タイプ

折り重ね式留め金プレスレット
プレスレットと留め金をつないでいるスプリング棒を見つけます。先の尖った道具を使って、スプリング棒を押し込み、プレスレットをそっとおじて外します。手首に合わせて長さを決めたら、目的位置の下穴にスプリング棒を入れます。スプリング棒を押し下げて上穴に当ててから離し、定位置にロックします。



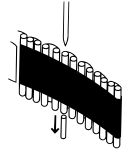
ソリッドリンク式タイプ

ソリッドリンク式プレスレット
リンク取り外し: ごく細いドライバーを使い、ネジを左回りに回して外します。繰り返して、必要な数だけリンクを取り外します。留め金の近くのリンクは外さないで下さい。
接続: 継ぎ直す端を組み合わせ、ネジを取り外した側からネジを入れて戻します。側面が平らになるまで、ネジを右回りに回してしっかり締めます。

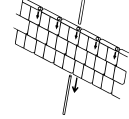
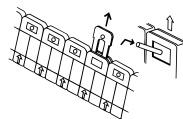


ステンレスとウレタンのジョイントタイプ

金属部分のパイプ内のピンを叩いて取り外す駒数のみピンを抜いて、つなぎます。



その他のタイプ



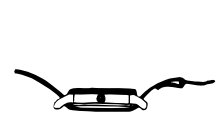
丸凹み部分を押ししながら上方に抜く

矢印の方向にピンを叩いて抜く

ベルクロストラップ



伸縮ストラップ



19. ご使用上の注意とお手入れ方法

日常のお手入れ

- ・ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくとサビや腐食で衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因となることがありますので、常に清潔にしてご使用下さい。
- ・時計を外した時は、柔らかい布などで汗や水分を拭き取るだけでケース・バンド・パッキンの寿命が違います。
- ・皮バンドは、柔らかい布などで吸い取るように軽く拭いて下さい。擦るように拭くと色が落ちたり、ツヤがなくなったりする場合があります。
- ・皮バンドは素材の性質上、色落ちする場合があります。特に水や汗などで濡れると色落ちしやすくなります。衣類・持ち物・肌などに色落ちが付着した場合は、直ちに時計・バンドを取り外して良く拭き取って下さい。
- ・金属バンドは、柔らかい歯ブラシなどを使い、金属バンドのみを水で洗って下さい。バンド部分の取り外しが可能であれば、取り外してから洗浄して下さい。バンドの取り外しが不可能な場合は、時計本体に水がかからないようにご注意ください。
- ・ウレタン・プラスチックバンドは、特にお手入れの必要はありませんが、汚れがひどい場合は水で洗浄して下さい。バンド部分の取り外しが可能であれば、取り外してから洗浄して下さい。バンドの取り外しが不可能な場合は、時計本体に水がかからないようにご注意ください。
- ・非防水時計は、湿度のあるところや汗などにご注意下さい。万一、濡れた場合は、直ちに吸湿性のよい布などで水分を吸い取って下さい。
- ・日常生活強化防水時計(10気圧・20気圧)を海水などでご使用になった場合は、洗剤や薬品などは使用せずに、水を使用して水分や汚れを拭き取って下さい。
- ・回転式ベゼル・リュウズ・プッシュボタン類は、汚れが付着していると機能の妨げとなりますので、清潔にしてご使用下さい。
- ・時計・バンドに科学薬品・ガスなどが付着すると、変形・変色・破裂する場合がありますので、絶対に付着させないで下さい。

かぶれやアレルギーについて

- ・バンドは多少余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用下さい。
- ・かぶれやすい体質の方や体調によっては、皮膚に異常がある場合があります。
- ・腐食・汚れ・汗などが、皮膚の異常を引き起こす原因となる場合がありますので、時計は清潔にしてご使用下さい。万一、皮膚などに異常を生じた場合は、直ちにご使用を中止して医師にご相談下さい。

保管について

- ・「0℃～50℃」からはずれた温度では、機能が低下したり、停止したりする場合があります。
- ・磁気や静電気の影響があるところに放置しないで下さい。
- ・極端にホコリの多いところに放置しないで下さい。
- ・強い振動のあるところに放置しないで下さい。
- ・薬品にふれるところに放置しないで下さい。
- ・温湯や防虫剤の入った引き出しなど特殊なところに放置しないで下さい。

20. 時計外装部品の損傷・破損について

- ・時計外装部品の損傷・破損は、保証期間内に於いても特別な場合を除き有償修理対応となります。又、損傷・破損が原因であっても、紛失された場合は保証の範囲ではありません。
- ・回転式ベゼル・リュウズ・ボタン・ハンドバックル等の可動部分の損傷・破損は保証の範囲ではありません。
- ・ご購入頂いてから間もない商品以外の時計のナイロンバンド・皮バンドの裁縫のほつれは、特別な場合を除き有償修理対応となります。

21. アフターサービス

修理を依頼される場合

時計の不具合及び修理は、不具合箇所を明記していただき下記宛にご郵送下さい。
弊社発行の保証書を必ずご同封下さい。添付のない場合は、保証期間内に於いても有償対応となりますので予めご了承下さい。

予めご了承いただきたいこと

消耗部品は経時変化しますので、必要に応じて点検及び部品交換をお申し付け下さい。
修理の際、「代替部品」を使用させていただく場合や、修理が困難な場合は「同等品との交換対応」とさせていただきます場合があります。
特別注文された製品の修理では、純正部品での対応となる場合があります。
日本国内未入荷モデルは、修理対応が「不可能」な場合や「同等品との交換対応」とさせていただきます場合があります。

日本総代理店

DKSHジャパン株式会社 カジュアル・ライフスタイル

〒108-8360 東京都港区三田3丁目4番19 DKSH三田ビルディング

TEL: 03(5441)4515 FAX: 03(5441)4522

URL : http://www.timexwatch.jp